

強い人材が強い企業をつくる

公的
資格試験

ビジキヤリ[®]

ビジネス・キャリア検定試験[®]



厚生労働省が定める職業能力評価基準に準拠
ロジスティクス分野 後援：経済産業省／国土交通省

平成30年度 試験日程

前期試験

1級

2級

3級

後期試験

2級

3級

BASIC級

試験日 平成30年10月7日(日)

試験日 平成31年2月17日(日)

申請期間 平成30年4月16日(月)～平成30年7月27日(金)

申請期間 平成30年10月9日(火)～平成30年12月14日(金)



JAVADA
JAPAN VOCATIONAL ABILITY DEVELOPMENT ASSOCIATION
中央職業能力開発協会
(職業能力開発促進法により設立された公的団体)

1 ビジネス・キャリア検定試験“ビジキャリ”とは？

職務を遂行する上で必要となる知識の習得と実務能力の評価を行うことを目的とした試験です。

8分野43試験

8分野43試験から自分の職種にあった受験が可能。厚生労働省が定める職業能力評価基準に準拠。

人事・人材開発・労務管理／経理・財務管理
営業・マーケティング／生産管理
企業法務・総務／ロジスティクス
経営情報システム／経営戦略

ビジキャリ 3つの特長

50万人超の実績

全国47都道府県で実施される延べ受験者数50万人超の実績ある試験です。

企業規模を問わず幅広い業種の企業様にご活用いただいております。

5,160円からの社員教育

低コストで即戦力をつける、5,160円*から始める社員教育。

受験料(税込): BASIC級 3,000円
3級 5,660円
2級 6,990円
1級 10,000円

*BASIC級ロジスティクスの受験で、お一人様の受験料(3,000円)とテキスト1冊(2,160円・税込)購入の場合。

職業能力評価基準とは何ですか？

職業能力評価基準は、仕事をこなすために必要な「知識」などに加え、成果につながる典型的な「職務行動例」について、担当者から組織部門責任者までの4つのレベルを設定し、業種別、職種・職務別に整理・体系化しています。また、採用や人材育成、人事評価、さらには検定試験の「基準書」として、様々な場面で活用できるものとなっています。

ビジネス・キャリア検定試験はいつから始まったのですか？

ビジネス・キャリア検定試験は、平成6年度に、当時の労働省の委託事業として、労働大臣認定講座の修了者などの教育訓練の成果を確認するためのビジネス・キャリア制度修了認定試験(ビジネス・キャリア・ユニット試験)として始まりました。平成19年度からは、それまでの試験単位のユニットを企業の職務内容に大括り化し、企業実務に即した専門的知識・能力を客観的に評価するための試験として、現在のビジネス・キャリア検定試験の形態となりました。その後、平成22年度からは、当協会独自の事業として実施し、現在に至っています。

2 試験分野・試験区分

平成30年度の試験は、前期・後期の2回です。試験区分は前期・後期とも、下表のとおりです。

※1級は前期試験のみ、BASIC級は後期試験のみの実施です。

試験分野	試験区分			
	1級	2級	3級	BASIC級
人事・人材開発・ 労務管理	人事・人材開発・ 労務管理	人事・人材開発	人事・人材開発	
		労務管理	労務管理	
経理・財務管理	経理・財務管理	経理	経理（簿記・財務諸表）	
			経理（原価計算）	
		財務管理（財務管理・管理会計）	財務管理	
営業・ マーケティング	営業・ マーケティング	営業	営業	
		マーケティング	マーケティング	
生産管理	生産管理	生産管理プランニング （製品企画・設計管理）	生産管理プランニング	生産管理
		生産管理プランニング （生産システム・生産計画） （加工型・組立型）		
		生産管理プランニング （生産システム・生産計画） （プロセス型）		
		生産管理オペレーション （作業・工程・設備管理）	生産管理オペレーション	
		生産管理オペレーション （購買・物流・在庫管理）		
企業法務・総務		企業法務（組織法務）	企業法務	
		企業法務（取引法務）		
		総務	総務	
ロジスティクス※	ロジスティクス	ロジスティクス管理	ロジスティクス管理	ロジスティクス
		ロジスティクス・オペレーション	ロジスティクス・オペレーション	
経営情報システム	経営情報システム	経営情報システム（情報化企画）	経営情報システム	
		経営情報システム（情報化活用）		
経営戦略	経営戦略	経営戦略	経営戦略	

※ロジスティクス分野は経済産業省及び国土交通省に後援いただいております。

3 試験概要

① 等級区分

試験の対象者等は、下表のとおりです。受験資格等は設けていません。どの等級からでも受験いただけます。

	受験対象者として想定される方	合格者に期待される人材像
1 級	実務経験 10 年以上 (部門長、ディレクター相当職を目指す方)	企業全体の戦略の実現のための課題を創造し、求める目的に向かって効果的・効率的に働くために、一定の専門分野の知識及びその応用力を活用して、資源を統合し、調整することができる。
2 級	実務経験 5 年程度 (課長、マネージャー相当職を目指す方)	当該分野又は試験区分に関する幅広い専門知識を基に、グループやチームの中心メンバーとして、創意工夫を凝らし、自主的な判断・改善・提案を行うことができる。
3 級	実務経験 3 年程度 (係長、リーダー相当職を目指す方)	当該分野又は試験区分に関する専門知識を基に、担当者として上司の指示・助言を踏まえ、自ら問題意識を持ち定例的業務を確実に実行することができる。
BASIC 級	学生、就職希望者、内定者、 入社してまもない方	仕事を行ううえで前提となる基本的知識を基に仕事の全体像が把握でき、職場での円滑なコミュニケーションを図ることができる。

② 出題範囲

中央職業能力開発協会のホームページで確認できます。

<http://www.javada.or.jp/jigyuu/gino/business/bunya.html>

③ 試験会場

試験は**全国 47 都道府県**で実施します。試験会場の詳細については、受験申請受付開始の案内時に、ホームページ (<http://www.javada.or.jp/jigyuu/gino/business/shiken-place.html>) にてお知らせします。

④ 出題形式等

試験は、筆記試験で行います。出題形式等は下表のとおりです。なお、2 級、3 級、BASIC 級はマークシート方式です。

	出題形式	出題数	合格基準	試験時間
1 級	論述式	3 問	試験全体として概ね 60%以上 かつ問題毎に 30%以上に正答	150 分
2 級	5 肢択一	40 問	出題数の概ね 60%以上に正答	110 分
3 級	4 肢択一	40 問	出題数の概ね 60%以上に正答	110 分
BASIC 級	真偽法	70 問	出題数の概ね 70%以上に正答	60 分

⑤ 受験料

受験料 (税込) は、下表のとおりです。

	1 級	2 級	3 級	BASIC 級
受験料	10,000 円	6,990 円	5,660 円	3,000 円

4 受験申込手続

① 個人申請 [個人で申請される場合]

インターネットからの申請	○ https://www.kentei-uketsuke.com/career/ からの申込み ○ 支払いは、クレジット決済又はコンビニ決済
郵便局からの申請 (※2)	○ 別途チラシ付属の専用の「払込取扱票」に所定事項を記入し、郵便局へ持参 ○ 支払いは、郵便局からの払込み

② 一括申請 [企業などで一括して申請される場合] (※1)

企業、教育訓練機関、学校などは、その所属する従業員、受講者、学生・生徒である受験希望者に代わり、受験申込手続を、一括して行うことができます。

新たに一括申請を行おうとする企業・団体などは、一括申請を行うことについて受験希望者の同意を得た上で、申込みをしてください。

受験料を企業等で一括払いされる場合	○ 企業などにおいて申請者リスト作成 ○ 支払いは、指定口座への振込み	
受験料を受験者が個人払いされる場合	インターネットからの申請	○ 企業などにおいて申請者リスト作成 ○ https://www.kentei-uketsuke.com/sys/career/ikkatsu/ から個人で申込み ○ 支払いは、個人でクレジット決済又はコンビニ決済
	郵便局からの申請 (※2)	○ 企業などにおいて申請者リスト作成 ○ 別途チラシ付属の専用の「払込取扱票」に所定事項を記入し、郵便局へ持参 ○ 支払いは、個人で郵便局からの払込み

(注1) いずれの申請方法でも、受験申請後の試験区分変更、試験地変更、受験者変更・取消し・返金はできません。次回への繰り越しもできませんので、ご注意ください。ただし、天変地変等の受験申請者の責によらない事由により受験できなかった場合で、当協会が認めたものについては受験料を返還します。(申込手数料は含みません。)

※お身体に障がいをお持ちの方については、受験申請の前にビジネス・キャリア検定試験運営事務局へお問い合わせください。

(注2) 「※1」について：一括申請を予定されている企業などにおかれましては、<https://www.kentei-uketsuke.com/sys/career/ikkatsu/> をご確認ください。運営事務局 E-mail : info_bc@nippan.co.jp にお問い合わせください。

(注3) 「※2」について：

- (1) 「払込取扱票」につきましては、本試験専用のものですので、郵便局に設置されている「払込取扱票」ではお取扱いできません。
- (2) 「払込取扱票」の設置場所につきましては、<https://www.kentei-uketsuke.com/career/> でご確認ください。なお、お近くに設置場所がない場合には、運営事務局までご連絡ください。
- (3) 「払込取扱票」は、受験申請書と兼用とさせていただいており、念のため、コピーを取っておいてください。また、「払込金受領証」を領収書とさせていただきますので、合格発表日までは、大切に保管しておいてください。庶務的な確認のときに必要となります。
- (4) 払込手数料につきましては、ご自身のご負担となります。

5 自施設における試験の実施

企業、教育訓練機関、学校などで、その所属する従業員、受講者、学生・生徒などの受験希望者に対して自らの施設において試験を実施することを希望する施設は、中央職業能力開発協会会長の認定を受けることにより、認定施設として自施設において試験を実施することができます。

認定施設になることを希望する施設は、あらかじめ中央職業能力開発協会に対して認定申請を行い、認定基準を満たすことが必要となります。

詳しくは中央職業能力開発協会へお問い合わせください。

6 試験日程

< 前 期 >

区 分	日 程
受験申請受付期間（個人・一括申請）	平成30年4月16日（月）～ 平成30年7月27日（金）
「受験票」の送付	試験実施日の概ね2週間前
試験実施日	平成30年10月7日（日）
合格発表日	[2・3級] 平成30年11月9日（金） [1級] 平成30年12月14日（金）

試験当日の実施時間帯				
午前			午後	
11:00～13:30	11:00～12:50		14:30～16:20	
1級	2級	3級	2級	3級
1級人事・人材開発・労務管理	2級人事・人材開発	3級労務管理	2級労務管理	3級人事・人材開発
1級経理・財務管理	2級経理	3級経理（原価計算）	2級財務管理（財務管理・管理会計）	3級経理（簿記・財務諸表）
1級営業・マーケティング	2級営業	3級財務管理	2級マーケティング	3級営業
1級生産管理	2級生産管理オペレーション（作業・工程・設備管理）	3級マーケティング	2級生産管理プランニング（製品企画・設計管理）	3級生産管理プランニング
1級ロジスティクス	2級生産管理オペレーション（購買・物流・在庫管理）	3級生産管理オペレーション	2級生産管理プランニング（生産システム・生産計画）（加工型・組立型）	3級企業法務
1級経営情報システム	2級企業法務（取引法務）	3級総務	2級生産管理プランニング（生産システム・生産計画）（プロセス型）	3級ロジスティクス管理
1級経営戦略	2級ロジスティクス管理	3級ロジスティクス・オペレーション	2級企業法務（組織法務）	3級経営戦略
	2級経営情報システム（情報化企画）	3級経営情報システム	2級総務	
	2級経営戦略		2級ロジスティクス・オペレーション	
			2級経営情報システム（情報化活用）	

試験当日またはその前後に不測の事態（自然災害等）が発生した場合は、試験の開催状況について <http://www.javada.or.jp/jigyoin/gino/business/index.html> 上で、お知らせいたします。

＜ 後 期 ＞

区 分	日 程
受験申請受付期間（個人・一括申請）	平成30年10月9日（火）～ 平成30年12月14日（金）
「受験票」の送付	試験実施日の概ね2週間前
試験実施日	平成31年2月17日（日）
合格発表日	平成31年3月15日（金）

試験当日の実施時間帯				
午 前			午 後	
11:00～12:00	11:00～12:50		14:30～16:20	
BASIC 級	2 級	3 級	2 級	3 級
BASIC 級生産管理	2級人事・人材開発	3級労務管理	2級労務管理	3級人事・人材開発
BASIC 級 ロジスティクス	2級経理	3級経理 (簿記・財務諸表)	2級財務管理 (財務管理・管理会計)	3級経理(原価計算)
	2級営業	3級財務管理	2級マーケティング	3級営業
	2級生産管理オペレーション (作業・工程・設備管理)	3級マーケティング	2級生産管理プランニング (製品企画・設計管理)	3級生産管理 オペレーション
	2級生産管理オペレーション (購買・物流・在庫管理)	3級生産管理 プランニング	2級生産管理プランニング (生産システム・生産計画) (加工型・組立型)	3級企業法務
	2級企業法務(取引法務)	3級総務	2級生産管理プランニング (生産システム・生産計画) (プロセス型)	3級ロジスティクス管理
	2級ロジスティクス管理	3級ロジスティクス・ オペレーション	2級企業法務(組織法務)	3級経営情報システム
	2級経営情報システム (情報化企画)		2級総務	3級経営戦略
	2級経営戦略		2級ロジスティクス・ オペレーション 2級経営情報システム (情報化活用)	

試験当日またはその前後に不測の事態（自然災害等）が発生した場合は、試験の開催状況について
<http://www.javada.or.jp/jigyou/gino/business/index.html> 上で、お知らせいたします。

7 学習支援のご案内

① ビジネス・キャリア検定試験「標準テキスト」のご案内

受験対策はもちろんのこと、ビジネス・パーソンの自学自習用教材、企業における集合研修用教材、就職を控えた学生・内定者の事前学習用教材としてもご活用いただけます。

「標準テキスト」は、

- 全国の紀伊国屋書店 (<http://www.kinokuniya.co.jp/>) 他、
- 社会保険研究所 (<http://www.shaho.co.jp/shaho/>) で購入できます。

「標準テキスト」の内容・価格などは、こちらからご確認ください。

<http://www.javada.or.jp/jigyou/gino/business/gakusyu.html>



② ビジネス・キャリア検定試験「過去問題解説集」のご案内

以下の教育機関では、過去問題解説集を発刊しています。詳しくは、各教育機関へお問い合わせください。

- 一般社団法人 雇用問題研究会 (<http://www.koyoerc.or.jp/publication/businesscareer.html>)
- 公益財団法人 日本生産性本部 (<http://consul.jpc-net.jp/BC/kakomon.html>)
- 株式会社 流通研究社 (<http://www.mf-p.jp//books/>)

③ ビジネス・キャリア検定試験「認定講座」のご案内

中央職業能力開発協会では、「ビジネス・キャリア検定試験」の試験区分に対応した教育訓練講座を認定しています。受験対策に、体系的な学習に、是非ともご利用ください。

「認定講座」を開設している機関・開設されている講座につきましては、こちらからご確認ください。なお、講座内容の詳細は、各機関にお問い合わせください。

<http://www.javada.or.jp/jigyou/gino/business/gakusyu.html>

ビジネス・キャリア検定 認定講座実施機関一覧

実施機関名称
株式会社エヌ・エム・アール流通総研
公益財団法人 日本生産性本部
日本 MH 協会
一般社団法人 日本マテリアルフロー研究センター
株式会社イー・ロジット
協同組合中央経友会
物流実務カレッジ (主催: 株式会社日本ロジファクトリー)
株式会社日通総合研究所
キャリア・コンサルタント協同組合
東芝総合人材開発株式会社
一般社団法人 国際物流総合研究所
東京都立城南職業能力開発センター 太田校

実施機関名称
麗澤大学 経済学部
株式会社ブルージュ
職業訓練法人 日本技能教育開発センター
有限会社ステップアップ
高崎問屋街職業訓練会
流通経済大学 新松戸キャンパス
株式会社エム・エスオフィス
株式会社いとう総合研究所
志學館大学
C2U キャリア研究所
名古屋文化短期大学

※最新の情報はホームページをご覧ください。

8 試験問題例

※正解はページ右下をご覧ください。

試験で出題したビジネス・キャリア検定試験問題については、ビジネス・キャリア検定ホームページで順次公開しております。

<http://www.javada.or.jp/jigyoin/gino/business/gakusyuu.html#mondai>

3級人事・人材開発

例題

以下は、いずれもA社の中で働いている人である。そのうちA社との雇用関係がある人を選びなさい。

- ア．期間工 イ．派遣労働者 ウ．請負労働者 エ．社外工

3級ロジスティクス管理

例題

物流コスト削減目的でのサービス見直しの記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．家具小売業A社は、倉庫での商品のピッキング、梱包、配送サービスについて、消費者が自分で行うこととし、商品価格を見直した。
イ．通信販売業B社は、従来、配送先の地域に応じた配送料を設定していたが、顧客サービスを向上させるため、一定額以上購入した場合に配送料を無料とすることとした。
ウ．通信販売業C社は、従来、原則翌日配送としていたが、標準の配送リードタイムを2～3日に延ばすと同時に、翌日配送のサービスを有料化することとした。
エ．食品製造業D社は、従来からパレットを最低受注ロットとして設定していたが、この度、車両フル積載に相当する大口受注の場合に、商品価格を割り引く制度を導入した。

3級生産管理プランニング

例題

資材計画に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．資材計画は、生産計画で示された生産品に必要な各種部品（購入品、加工品）の必要量と必要時期（納期）などを定める計画で、購買計画や在庫計画等の基礎となる。
イ．資材計画の不備により、品質の低下、原価高、在庫増、死蔵品の増加、納期遅延、在庫回転率の低下など計り知れない損失を生み出すことになる。
ウ．資材計画は、サマリー型やストラクチャー型の部品表を使って購入品と加工品の所要量を算出する。
エ．資材計画で算出された資材の所要量は、直ちに正味所要量として発注（購買）手配に移る。

2級労務管理

例題

育児・介護休業法、男女雇用機会均等法で定める休暇、休業に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．要介護状態の家族を介護する労働者からの介護休暇の申し出は、口頭ではできない。
イ．要介護状態の家族を介護する労働者から、介護休業の申し出があった場合には、事業主は、対象家族が要介護状態にある事実を証明する書類の提出を求めることができる。
ウ．小学校就学前の子を養育する労働者が、子の看護休暇を申し出た場合には、事業主は、子の病気を証明する書類の提出を求めることができる。
エ．労働者が育児休業を申し出る方法としては、書面によるもののほか、事業主が適当と認めた場合には、電子メール又はイントラネットを使用して、送信する方法も可能である。
オ．妊娠中の女性労働者から、「医師又は助産師から、通勤緩和、勤務時間短縮等の措置が必要であると認められると指導された」と申し出があった場合には、事業主は、母性健康管理指導事項連絡カードの提出を求めることが望ましい。

(ア)：育児休業法第15条第1項第1号イ、(イ)：育児休業法第15条第1項第1号ロ、(ウ)：育児休業法第15条第1項第1号ハ、(エ)：育児休業法第15条第1項第1号ニ、(オ)：育児休業法第15条第1項第1号ヘ【埼玉】

9 企業様の活用事例等

① 企業様の活用事例

Case 1

株式会社イワキ様

通信教育と検定試験により
バックオフィス部門の専門知識の向上を追求

“ 「イワキのメガネなら安心です」 というキャッチフレーズCMでおなじみの株式会社イワキは、キャッチフレーズに込められた想いの通り、確かな技術とセンスを持ったスタッフによる、品質の高い商品やサービスによって、一人ひとりのお客さまに「世界一のメガネ専門店」として認めていただけるよう企業努力を続けています。そのために、サービスを実践する社員の教育には手間や時間を惜しまず、きめ細かな教育研修制度を立ち上げています。バックオフィス部門ではビジネス・キャリア・ユニット試験時代より、長期にわたり「ビジキャリア」全般を部門の資格として活用しています。 ”

「ビジキャリア」導入の背景

販売部門の社員は製品知識、検眼技術、調整技術等の研修及び検定試験の実施等、教育研修制度が確立していましたが、バックオフィス部門の事務、加工各部門及び眼鏡の製造・卸をしている関連会社（株式会社ポラリス・ジャパン、株式会社アイメトリクス・ジャパン）には、明確な教育研修制度がありませんでした。そこで、バックオフィス部門及び関連会社にも公的資格試験を受けさせたいとの思いで多岐にわたり調査したところ「ビジキャリア」の存在を知りました。

販売部門と同様に研修を受講し検定試験に臨む教育研修体系を制度化するために、研修としての「ビジキャリア」認定講座（通信教育）利用と、検定試験としての「ビジキャリア」活用をバックオフィス部門の教育研修制度としてセットで導入することを決めました。

「ビジキャリア」導入の決め手

公的資格試験であったことがまず第一の決め手となりました。また、受験科目が事務系職種を幅広く網羅しており、明確な基準（職業能力評価基準）に準拠して実施される試験で、科目間の水準が一定であったことも更に導入の決め手となりました。

「ビジキャリア」の活用目的

先にも述べたとおりバックオフィス部門の教育研修制度として採用しました。社内のキャリアパスとして『マスター』、『主事』があり、このうち『マスター』の昇格試験として販売部門では検眼、調整の実技試験を社内で行っていますが、バックオフィス部門では「ビジキャリア」合格を義務づけています。

「ビジキャリア」導入後の効果

「ビジキャリア」は科目間の水準が一定なため、**検定試験の合否を昇格要件とすることで公平な昇格につながりました**。また、通信教育を取り入れたことにより**学習する機会が作られる**と共に、合格が受験者の目標になるので明確に**モチベーションが向上**しています。

当社の大きな特長と言えますが、検定試験受験にあたり上司がサポートする体制になっています。その協力体制が上司部下の良好な関係作りに寄与しています。

「ビジキャリア」普及にあたっての工夫

社内の教育研修制度となっていることから確実に「ビジキャリア」を受験しますが、目指すところは専門知識の向上です。そのためには、**研修としての通信教育も受講者個人任せにするのではなく、会社として学習進捗状況を確認して知識の習得状況を把握**します。このように十分に準備をした状況で検定試験に臨ませるといった取組みをしています。

「ビジキャリア」の今後の方向性

イワキには単に**与えられた仕事を遂行するだけでなく、時代に合った新しいお客さまサービスを自らの考えで創造し、これまで以上の感動体験を提供**していこうという熱意やアイデアをもった人材が必要です。そのためにも、引き続きビジキャリアを活用してスキルアップにつなげていきたいと思えます。



株式会社イワキ 会社概要

設立	1948年（昭和23年）	本社	東京都渋谷区
資本金	50百万円	事業内容	メガネ・コンタクトレンズ・補聴器・光学品の販売
従業員数	378名（連結）		

Case 2

株式会社 OKIプロサーブ様

「ビジキャリア」活用で提案力の向上を実現

“ 株式会社OKIプロサーブは、高度なスキルと専門性を持ったプロフェッショナル集団として、お客様のあらゆるニーズにお応えし、高品質で、オリジナリティ溢れるサービスをワンストップでご提供し、お客様満足度の最大化を目指している企業です。
ロジスティクス事業部門では「ビジキャリア」ロジスティクス分野を採用し、多くの社員が資格を取得、お客様への提案力向上、現場改善につなげています。

”

「ビジキャリア」導入の背景

お客様のあらゆるニーズにお応えして、高品質なサービスをご提供するためには、更に従業員の知識を向上させることが重要であるとの考えから、ロジスティクスの知識向上の手段をインターネットで調査し「ビジキャリア」が最適との結論に達しました。

「ビジキャリア」導入の決め手

公的資格試験だったことです。また、簡易にチャレンジできるロジスティクスの資格が他には無かったことも選定の理由となりました。現在、社員には「ロジスティクス管理」、「ロジスティクス・オペレーション」の受験を推奨しています。

「ビジキャリア」の活用目的

お客様に提案を行いご採用いただくための要因の一つに、提案した企業の信頼感・安心感があります。信頼感・安心感を定量的に把握していただくために、保有している資格者の数を提示しています。多くの社員が「ビジキャリア」で学習し、より一層知識を向上させて資格を取得することを社員に勧奨しています。

「ビジキャリア」導入後の効果

「ビジキャリア」テキストを共通に学習することで、社員同士でロジスティクス用語の統一化が図られたため、お客様の業務改

善提案を検討する際に統一の用語で議論できるようになりました。そのため、用語の意味合いの説明に時間を要したり、提案内容の齟齬が生じることがなくなり、業務効率化が図られました。

試験に合格した際に合格者が上司に報告していますが、そういった行動が社員の試験受験へのモチベーション向上に結びつきますし、仕事に取り組む上でのモチベーション向上にもつながっています。

また、合格者に対する社内の評価が高まっています。具体的には、倉庫レイアウトの改善提案依頼がきた際に「Aさんはこの前資格を取ったから、この提案依頼についてちょっと相談してみよう」「この仕事はあの人が資格を持っているので任せよう」といったことがありました。

「ビジキャリ」合格者の声

社内では合格者からの以下のような声が聞こえてきています。

- 今まで特定の範囲の業務しかしていなかったため、狭い範囲でしか業務が見られませんでした。しかし、「ビジキャリ」は物流業務を幅広く全般的に網羅しているため、それらの知識を習得したことで、業務の全体を広い視野で見られるようになり、今まで見えていなかったことが見えるようになりました。
- ずっと管理部門だったため現場や作業のことがわかりませんでした。しかし、「ビジキャリ」を勉強したことで、物流とはどのような業務なのか知ることができました。
- 物流業を網羅しているテキストなので、辞書的に使っています。

「ビジキャリ」普及にあたっての工夫

テキスト、受験料とも会社負担とし社員が気軽にチャレンジできるように配慮しています。また、合格した際には報奨金を出しています。また、受験を控える社員には受験に支障をきたさないよう、上司に業務面でのフォローをお願いしています。これにより社員には受験をすること、資格を取得することの重要性を認識してもらっています。

「ビジキャリ」の今後の方向性

取得した資格がその人のキャリアデザインとリンクしていくよう、活用できる場(仕事)を提供していきたいと思います。また、「ビジキャリ」ロジスティクスを、昇格、昇級要件に組入れることも今後の課題として検討したいと考えます。



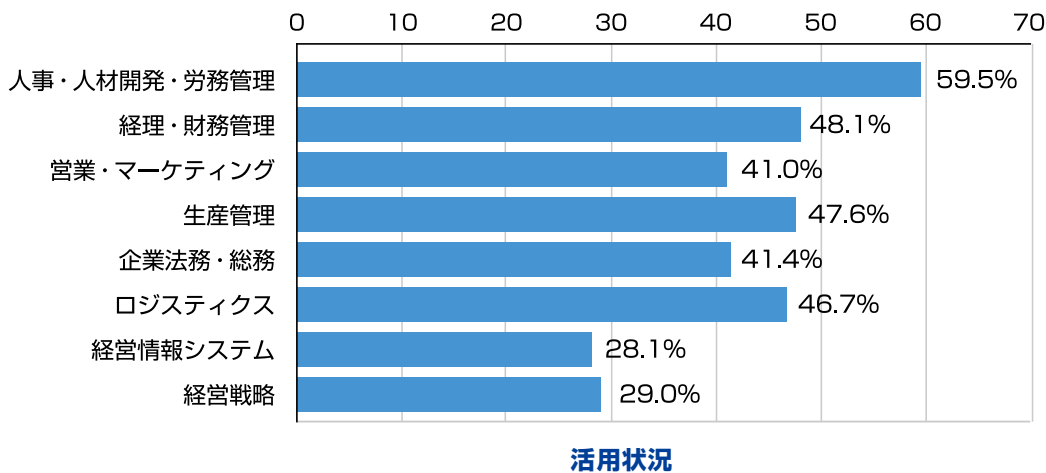
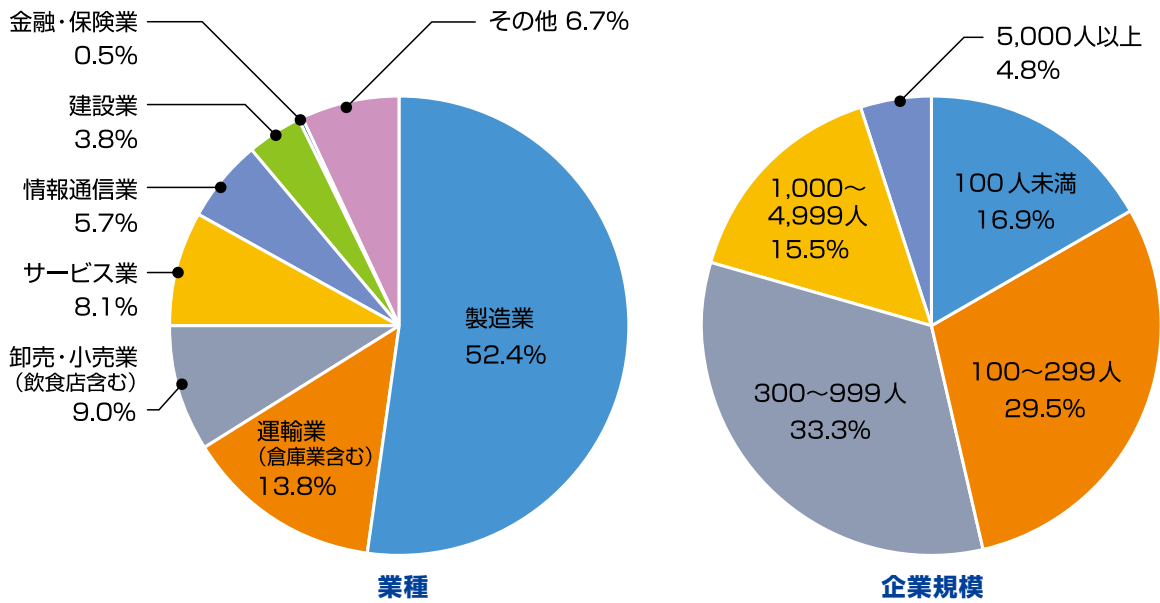
株式会社 OKI プロサーブ 会社概要

設立	1978年(昭和53年)	本社	東京都港区
資本金	321百万円	事業内容	OKIグループ間接業務のシェアードサービス、ロジスティクス事業、ファシリティ事業、ヒューマンサポート事業、プロダクトデザイン・プロモーション事業
従業員数	450名		

その他の企業様の活用事例もHP掲載中！



② 一括申請企業データ



TOPICS

例年、合格率は1級で約15%、2級で約40%、3級で約55%、BASIC級で約60%です。
各試験区分の合格率については、
試験の実施結果 (<http://www.javada.or.jp/jigyou/gino/business/shiken-kekka.html>) をご覧ください。

③ ご活用いただいている企業様一覧 (一例)

株式会社 IHI / 株式会社あらた / イオングローバル SCM 株式会社 / 株式会社伊藤園 / 株式会社イワキ / 株式会社 VSN
株式会社エイブルジャパン / AGS 株式会社 / 株式会社 NTTデータ東海 / 株式会社 NTTロジスコ / 株式会社 OKIプロサーブ
株式会社オリエンタルランド / 株式会社オンダ製作所 / 京セラコミュニケーションシステム株式会社 / KDDI 株式会社
三和コンピュータ株式会社 / 株式会社資生堂 / シチズン時計マニファクチャリング株式会社 / 昭和電線ホールディングス株式会社
大和物流株式会社 / トピー実業株式会社 / 株式会社名古屋銀行 / パナソニックESエンジニアリング株式会社 / 浜名湖電装株式会社
林純薬工業株式会社 / 広島 Law & Business 専門学校 / 株式会社ヒロテック / 福岡運輸システムネット株式会社
株式会社不二越 / 富士紡ホールディングス株式会社 / 株式会社ベルーナ / マルコメ株式会社 / 株式会社丸和運輸機関
三貴ホールディングス株式会社 / 森永乳業株式会社 / リコーインダストリアルソリューションズ株式会社 (50音順)

他にもたくさんの有名企業様にご利用いただいております！

④ 合格者の声

2級労務管理

日々の業務の中で、会社の中ではしっかり業務に取り組んでいるつもりであっても、一般レベルで考えたら今の自分のレベルはどの位なのか？なかなか客観的に見つめる事は難しいと感じており、**当初は自分の力試しを目的に受験しました**。検定試験の中には、直接関わりの少ない業務に関する情報も入っていますが、**幅広い情報を得る事で、業務に対する判断の基準が形成され、より円滑に仕事が進められるようになった**と感じております。(ケーテック株式会社 様)

3級人事・人材開発

会社からの指示が受験のきっかけではありますが、**科目内容は実業務とも密接に絡むため、基礎知識のチェックや習得領域のバランスを把握する意味で非常に活きています**。引き続き、2級・1級と取得していきたいと思っております。

2級経理

会社の昇格要件とされていたこともあり、現在従事している**経理業務のスキルアップのため受験しました**。通信教育を約半年間受講、1日30分から一時間程度、過去問を繰り返し解き、間違えた問題について、全ての選択肢の根拠を調べました。今回の受験を通じ、**何となく理解していた法的根拠・原則について、しっかり身についたように**思います。(新潟ポリマー株式会社 様)

2級生産管理プランニング(製品企画・設計管理)

入社10年目の今年、『自分がどれだけ成長できたか確認したい』と思い受験しました。試験前の約1か月間は、教科書を読み込み、そして過去問4回分を繰り返し勉強しました。**勉強する中で、企画/設計/原価等の分野において、自分の知識が曖昧だった事に気づかされました**。不明確な部分をクリアにする⇒世間一般の知識と摺合せができるという意味で、有意義な試験だったと思います。(シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 様)

3級企業法務

会社が推奨している検定でもあり、少しでも**仕事に活かす事ができればと思い受験しました**。標準テキストで学習し、わからない用語などはインターネットや図書館の本で調べたりして学びました。普段なかなか勉強する事が無いが、**受験をきっかけに勉強するよい機会となりました。また、知らない知識を新たに得ることができました**。(株式会社キューソー流通システム 羽根孝子 様)

2級ロジスティクス・オペレーション

昨年度「2級ロジスティクス管理」に合格し、今回は「2級ロジスティクス・オペレーション」を受験しました。主に過去問の内容でテキストを再確認することを繰り返しました。国内物流を実務で四半世紀従事していますが、**本試験の受験により、拠点整備の考え方、包装、CSR、環境と多岐に亘って整理することができ、輸出入、海上輸送についても学習ができたことにより、大きな糧となりました**。(大和物流株式会社 奥瀬敬 様)

2級経営戦略

自己研鑽のために、1件/年のペースで受験しています。公式テキストによる学習を通じ、**会社員にとって必要な知識を幅広く得ることができるため、日常業務への理解が深まると感じています**。今後も各分野の受験を計画しています。(日鉄住金テックスエンジニアリング株式会社 伊藤貴哉 様)

中央職業能力開発協会

働く方々の職業能力の開発及び向上の促進を図ることを目的に、職業能力開発促進法に基づき昭和54年に設立されました。(厚生労働省所管)
現在、職業能力評価の専門機関として、職業能力が適正に評価されるための各種事業や、職業能力開発に関する様々な情報提供、相談援助等を通じて働く人々のキャリア形成を支援する事業を行うとともに、ものづくり尊重の気運を醸成するための技能振興に関する各種事業を都道府県職業能力開発協会と連携して行っております。

中央職業能力開発協会の主な事業

◆職業能力評価試験の実施

技能検定（国家検定）
コンピュータサービス技能評価試験（公的資格試験）
ビジネス・キャリア検定試験（公的資格試験）

◆キャリア形成の基盤整備

キャリア形成支援ツールの提供（CADS & CADI）
セミナー、講座の開催
教育訓練給付制度における講座指定の支援と指定講座に関する情報提供

◆ものづくり基盤の強化

技能五輪全国大会の実施
技能五輪国際大会への選手派遣
技能グランプリの実施
若年者ものづくり競技大会の実施
若年技能者人材育成支援等事業の実施

◆能力開発、技能評価関係図書が発行

お問い合わせ先					
名称	電話番号	名称	電話番号	名称	電話番号
北海道職業能力開発協会	011-825-2385	富山県職業能力開発協会	076-432-9883	島根県職業能力開発協会	0852-23-1755
青森県職業能力開発協会	017-738-5561	石川県職業能力開発協会	076-262-9020	広島県職業能力開発協会	082-245-4020
岩手県職業能力開発協会	019-613-4620	福井県職業能力開発協会	0776-27-6360	香川県職業能力開発協会	087-882-2854
宮城県職業能力開発協会	022-271-9260	山梨県職業能力開発協会	055-243-4916	愛媛県職業能力開発協会	089-993-7301
秋田県職業能力開発協会	018-862-3510	長野県職業能力開発協会	026-234-9050	福岡県職業能力開発協会	092-671-1238
山形県職業能力開発協会	023-644-8562	岐阜県職業能力開発協会	058-322-3677	佐賀県職業能力開発協会	0952-24-6408
茨城県職業能力開発協会	029-221-8647	静岡県職業能力開発協会	054-345-9377	長崎県職業能力開発協会	095-894-9971
群馬県職業能力開発協会	0270-23-7761	滋賀県職業能力開発協会	077-533-0850	熊本県職業能力開発協会	096-285-5818
埼玉県職業能力開発協会	048-829-2803	京都府職業能力開発協会	075-642-5075	大分県職業能力開発協会	097-542-3651
千葉県職業能力開発協会	043-296-1150	大阪府職業能力開発協会	06-6534-7510	宮崎県職業能力開発協会	0985-58-1570
東京都職業能力開発協会	03-5211-2352	兵庫県職業能力開発協会	078-371-2091	鹿児島県職業能力開発協会	099-226-3240
神奈川職業能力開発協会	045-633-5418	奈良県職業能力開発協会	0742-24-4127	沖縄県職業能力開発協会	098-862-4278
新潟県職業能力開発協会	025-283-2155	鳥取県職業能力開発協会	0857-22-3494		

※上記以外の県のお問い合わせ先は、以下の「ビジネス・キャリア検定試験運営事務局」になります。

個人情報の取扱いについて

- お申込みいただきました方の個人情報につきましては、中央・都道府県職業能力開発協会のプライバシーポリシーに基づき、適切に管理します。
- お預かりした個人情報につきましては、受験料の收受、受験票の発送、受験履歴の管理のための電話・メール・郵便による連絡など、ビジネス・キャリア検定試験の運営のために利用させていただきます。なお、個人が特定されない形で、統計調査、運営改善などのために利用させていただく場合があります。
- 中央・都道府県職業能力開発協会は、上記2の業務を実施するうえで、上記1の必要な契約締結のうえ、業務の一部を第三者に委託する場合があります。

【ご確認】 「個人情報の取扱いについて」ならびにその他の受験のご案内に記載事項をあわせてご確認の上、払込取扱票に氏名をご記入ください。この氏名をもって、受験のご案内に記載された全ての事項に同意された旨の署名をいただいたものとみなします。

受験申請に関するお問い合わせ先

ビジネス・キャリア検定試験運営事務局

〒119-0201 東京都千代田区神田駿河台4-3 新お茶の水ビルディング

E-mail: info_bc@nippan.co.jp

TEL 03-3233-6810 (10:00~17:00 土・日・祝日・年末年始を除く)

- ※1 ビジネス・キャリア検定試験は、中央職業能力開発協会が主催する検定試験です。
- ※2 中央職業能力開発協会はビジネス・キャリア検定試験を日本出版販売株式会社と連携して実施いたします（以下、両者を併せて「実施者」という。）。
- ※3 事由の如何を問わず、検定受験又は検定を受験できなかったことに関し実施者が負担する責任（但し、実施者、実施者の代表者又は実施者の使用する者の故意又は重過失によるものを除きます。）は、直接かつ通常の損害（逸失利益を含む間接損害及び特別損害は含みません。）の範囲に限られ、かつ受験者から受領した受験料の額を限度とします。



JAVADA
JAPAN VOCATIONAL ABILITY DEVELOPMENT ASSOCIATION
中央職業能力開発協会

〒160-8327 東京都新宿区西新宿 7-5-25
西新宿木村屋ビルディング 11 階

TEL 03-6758-2835 FAX 03-3365-2716

<http://www.javada.or.jp/jigyougino/business/index.html>